



海の星

浜松海の星高等学校通信 2015年度 No. 4

H27. 6. 30 発行

★ 学校長挨拶 一ベリタスプラザを振り返ってー

6月13日（土）、ベリタスプラザが一般公開されました。

生徒は、日々の様々なことを糧にして成長している、と各所で感じました。「手が空いている生徒たちもよく協力し合っている」という教員同士の会話を聞いて、納得できました。ここに至るまでの道のりは平坦ではなかったはずです。「縁の下の力持ち」が活躍している時、つまり、表面と水面下の力がつり合いバランスが取れた時、訪れた人は快い時を過ごせます。みなで良い時をつくってくれたと実感した1日でした。

★ ベリタスプラザ“祭～夢源～”開催 ー6月12日（金/校内発表）・13日（土/一般公開）ー

晴天に恵まれ、一般公開日には1,230名を超えるお客様に本校の“ベリタスプラザ”を楽しんでいただきました。

今年度は、『祭～夢源～』というテーマを掲げ、ベリタスプラザが祭のように盛り上がり、海の星に来てくれるお客様の夢の源になるよう、舞台・展示発表やバザー等の各企画はもちろん校内装飾にも力を入れました。

また、浜北在住のネパール人グルン・ビルさんによる地震体験についての講演も行われ、総額50,648円もの義援金が集まりました。

※当日の来場者アンケートでは、次のようなコメントをいただきました。

- ・毎年楽しいので、来年も楽しみにしている
- ・バザーの品がたくさんあった
- ・吹奏楽部がよかったので、演奏時間を伸ばしてほしい
- ・迷路、弓月神社、演劇が楽しかった

アンケートでの貴重なご意見は、来年度の企画・運営を行なううえで参考にさせていただきます。保護者の皆様をはじめ多くの方々の温かいご支援・ご協力に厚く御礼申し上げます。



当の様子 <吹奏楽部舞台発表>



<日本舞踊部舞台発表>



<食品販売（サッカー部）>



<ネパール人グルン・ビル氏の講演>



<松フェス（1～3年松組合同）>



<同窓会バザー>

★ 授業参観の御礼 ー6月26日（金）5・6限ー

本校の教育活動の一端をご覧いただく機会として、6月26日（金）に授業参観を実施しました。悪天候にもかかわらず、学校にお越しいただきありがとうございました。いただきましてご意見は、授業へのフィードバックという形で対応していきます。



★ 第58回校内英語スピーチコンテスト 結果 ー6月26日（金）ー

〔一般の部〕 ① 1位 佐土原侑希（1松） “Children living in poverty”

2位 山田真子（3松） “Phone Addiction”

3位 伊藤晴美（1松） “K.Y.”

〔帰国子女の部〕 ① 1位 松下由奈（3松） “A rainbowed Japan”

2位 岡島真実（3松） “A helping hand”



今回の優秀者3名は、9月に行われる西部大会に出場します。

★ 夏期保護者面談について

1学期の成績を踏まえて、夏期休暇期間に全学年で保護者面談を実施いたします。ご息女の生活面や進路についての情報交換の場となれば幸いです。面談日程や場所等の詳細は各クラス担任よりお知らせしますので、ご確認ください。



★ 校内スポーツデーについてー7月9日（木）終日ー

バスケットボール、バレー、サッカー、卓球（ダブルス）、アームレスリングの5種目を全校のクラス対抗形式で行います（松組は3学年合同チーム）。スポーツを通じてクラスの団結・絆が深まる事を期待しています。

★ 夏期補講について ー全学年・全コース希望者対象ー

夏期休暇期間中に、主要5科目を中心に各種補講を開講します。日程は以下の通りです。

前期（5日間）：7月22日（水）～7月28日（火） 中期（5日間）：7月29日（水）～8月4日（火）

後期（4日間）：8月25日（火）～8月28日（金） ※後期は特進コースのみ開講



★ 7月の行事予定

1 水	《委員会》	14 火	TOEIC Bridge (5・6限)
3 金	世界遺産検定	15 水	《全校集会》
4 土	[PM]1年生保護者対象進路講演会	16 木	4限まで授業[AMのみ]
5 日	第1回英語検定（2次）	17 金	【家庭学習日】
6 月	期末試験（～8日（水））	18 土	【[AM]家庭学習日】
9 木	スポーツデー	20 月	【海の日】
10 金	第1回漢字検定	21 火	終業式
11 土	進研模試（1～3年特進+希望者）	22 水	成績不良者追試（～24日（金））、夏期補講開始

TEL : (053) 454-5376 FAX : (053) 453-4719

学校ホームページ「<http://www.uminohoshi-h.ed.jp/>」



保護者の皆様へメッセージ ー2学年の担当教員よりー



“教員紹介第2回”となる今号では、2学年担当の言葉を掲載します。（〔 〕内担当教科）

*2学年 学年主任 砂子幸弘〔コミュニケーション英語Ⅱ〕 担当クラス：2学年全クラス

70年前の今月23日、太平洋戦争末期での沖縄戦が終わりました。3か月にわたる地元住民を巻きこんだ地上戦で県民の4人に1人が亡くなりました。そんな悲惨なかつての戦場に私たち2学年は、10月に修学旅行で向かいます。隣国的情勢に危機感を抱く考え方にも耳を傾けつつ今の日本が多くの人たちの犠牲の上に成り立っていることも考えなくてはいけません。

また中旬には本校の文化祭であるベリタスプラザが開かれました。今回は好天に恵まれ他校の学祭と重ならなかったこともあり、史上最高の来場者数を記録しました。同じ時間に世界では内戦に苦しんでいる子供たちもいることを思いつつ平和のありがたみを感じました。

*2学年 梅組担任 佐藤大介〔数学ⅡB・数学Ⅲ・数学演習〕

担当クラス：2年梅・松組、3年梅・松組

現2年生が入学するちょっと前に不惑を迎えたので、だいぶ40代の自分に慣れてきました。30代の自分との違いは、少し「待てるようになったことです。なんだか大みたいですね…。10代後半の女子は、他人の指示をなかなか実行に移さないという奇妙な生態を保つことで有名（？）ですが、最終的に「やろう」という意思は持っていて、ほとんどの場合、時間はかかりますが実行してくれます。何度も要求せずに、ご家庭でも少し待ってみませんか？

*2学年 蘭組担任 土屋 敦〔保健・体育〕 担当クラス：1～2学年全クラス、3年梅・松組

私が、印象に残った次のような言葉がありました。それは「Youメッセージ」と「Iメッセージ」という2言葉です。Youメッセージというのは、「君は〇〇だね」という言い方です。「えらいね」「やればできるじゃないか」等です。一方Iメッセージというのは「君が●●だから私は▲▲だよ」という言い方で、例えば「君のがんばりを見ると私も元気になる」がそれです。心理学の世界では、Iメッセージというのは、相手の心に響く言い方であるとされています。そのような言葉をかけられる様にしていきたいです。

*2学年 菊組担任 村松由佳理〔宗教〕 担当クラス：1～3学年全クラス

5月27日（水）に行なわれましたマリア祭では、お花のご協力ありがとうございました。マリア祭後、生徒たちの感想文を見ましたら、「家族の健康をお花に祈ってマリア祭を過ごしました」や「一人一人がお花に込めた祈りがマリア様に受け入れてもらえるといいです」などという思いが書かれています。純粋な祈りの中でマリア祭という時間を過ごしてくれたことに私たちは喜びを感じました。これからも生徒たちとともに内面に触れる機会を大切にしたいと思います。保護者の皆様のご参加もお待ちしております。

*2学年 竹組担任 小笠原祥子〔生物基礎〕 担当クラス：2学年全クラス

竹組は理系クラスです。4月に看護・医療・栄養系プログラムへの参加を募ったところ、27人中24人の参加希望が出ました。プログラム参加者は授業とは別に化学、生物、英語の課題に毎週取り組んでいます。本日夏期補講の案内を配布しました。ほとんどの生徒が部活動に所属していますので、なかなか両立が大変だと思いますが、積極的に参加してもらいたいと思います。

*2学年 松組担任 清水あす香〔コミュニケーション英語Ⅱ〕 担当クラス：2学年全クラス

新年度が始まり、3か月が経ちました。2年生としての1年間が始まり、学校行事や部活動でも活躍する姿をよく見かけます。学習面も含め、高校時代にしかできないことに対し全力かつ真摯に取り組み、喜びや苦しさをたくさん経験してほしいと思っています。そこから直接的に得られるものは勿論ですが、感情の振り幅を広げることで、その後の人生をより一層豊かなものにしてくれることだと思いますので、ご家庭のご協力もよろしくお願いいたします。

*2学年 学年付 今田裕子〔養護教諭〕

保健室で生徒の心身の健康を見守っています。元気な時でも、元気がないときでも気軽に立ち寄れる場所を提供したいと思い、生徒と共に日々を過ごしています。保健室が生徒にとって居心地のいい場所となり、「また頑張ろう！」となれるような心身のサポートをしていきたいと思っています。また本校にはスクールカウンセラーもおりますので、保護者の皆様もぜひ保健室、相談室ともにご活用ください。

*2学年 学年付 児玉美奈子〔国語総合・古典〕 担当クラス：1・2年松組、3年松組（文系のみ）

先日、どこかのクラスで「忠臣蔵」の話をしましたら、半分の生徒が「忠臣蔵」を知らないということにびっくりしました。私自身「忠臣蔵」について、いつ、どのように知ったのか記憶にないのですが、学校で習ったのではないことは確かです。

社会に出て「知っていて当たり前」と言われることのほとんどは、教科書で習うのではなく、日常生活の中で見聞きして覚えていくのだと思います。毎年夏には、テレビなどで戦争、終戦、戦後の日本社会に関する番組が多くみられます。学校の勉強も大切ですが、こういった番組も教養として見ておいてほしいと思います。今年はぜひ、保護者の皆様も生徒と一緒にご覧ください。そして年の暮れには「忠臣蔵」も、お忘れなく。

*2学年 学年付 白畠 霞〔日本史・世界史〕 担当クラス：2年梅・蘭・竹・松組、3年松組

生徒会・宗教・美化を担当しています。小学生からの夢を叶えて教員になりました。常勤1年目で、生徒の皆さんにとって非常に年近い存在です。まず自分自身が実践する姿勢をもち、共に毎日を全力で駆け抜けたいと思います。過去や未来に目を向けて、不安な気持ちになることが多い高校3年間ですが、今この瞬間を大切にして精一杯生きて欲しいと思います。私も実践します！よろしくお願ひいたします。

TO 1学年

1学年主任 鈴木富美子

ある日の授業で、習った文法表現を使って4コマ漫画の最後の場面を考えるという活動をしました。出てきた英語の台詞は私の予想を超えて自由な発想でウイットに富んでいました。エネルギーにあふれ、柔軟に物事を考えられるところが若者の強みです。課外活動が本格的になり、時間のやりくりに苦労している姿を見かけることが増えてきましたが、やりたいことを思う存分やるためにも時間を生み出す工夫をして、すべきことを「主体的」にする自分を確立してほしいと願っています。

1学年では6月、文理選択について説明会を行いました。2学期には来年度以降のコースと科目選択を決定するため、夏休みの保護者面談では、担任より進路についてもお話をさせていただく予定です。主人公は生徒自身。本人が努力するのは当然のことですが、ご家庭でもどうぞゆっくりお話をなさってください。

TO 3学年

3学年主任 中村隆之

先日まで教育実習生2名が本校にて実習を行いました。1人は2週間、もう1人は3週間の実習でした。2人とも3学年に所属し、担当クラスの生徒と徐々に打ち解け仲良くなり、最後は名残惜しそうに去っていました。私は英語の指導教官として3週間の実習生の指導を任せられました。彼女は在学中にイギリスに留学しており、よく知っている生徒でした。

月日の経つのは早いものであつという間に4年が過ぎ、イギリスから涙声で電話してていた少女は、すっかり大人の女性になっていました。実習中、彼女は寝る間を惜しんで翌日の授業のため手作りの教材を作成していました。目の周りに限をつくりながら、自作の大きな英単語フラッシュカードをめくりながら、笑顔で生徒と一緒に繰り返し発音している姿がまるで昨日のように思い出されます。この3週間を振り返ってみると、私の30年の教師生活で削ぎ落としてきた「本当は大切なもの」を、彼女がもう一度思い出させ、初心に帰させてくれた感じがします。与えるよりも多くを与えられた3週間でした。